

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人おやこ劇場松江センター
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	「あそびから育つ豊かな創造力～のんびりじかんをたいせつに～」事業
事業費(うち助成金額)	810,244 円 (684,800 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	該当無し



■事業目的

多様性を受け止める力や主体性を持つ子どもの育成が求められる中、大人の考える価値観の中で大人の言うことを聞く子どもが良い子とされ、周囲と違った考えや自分なりの意見をもって行動することを認めない社会環境の中では創造的な感性を持つ子どもは育ちにくく生き辛さを感じる社会になっている。変化を受け入れる柔軟性や豊かに生きていくための情報収集できる人間関係の構築や環境づくりができる社会づくりを目指し事業を実施しました。

■事業内容

あそびのワークショップ「あそびっこ」ただじゅんや(6月)人形作りワークショップ、人形劇鑑賞「ちいちいにんにん」人形劇団のはな(8月)舞台劇鑑賞「かぜのうた」表現教育研究所 大沢愛(11月)

子どもの成長にとって大切なことは、様々な体験をし心を揺さぶられ五感を刺激し、いろいろな人と出会い感動を共有できる空間を持っていることであり、親だけではその環境を作り出すことはできない。舞台芸術鑑賞やあそびは感動する、心が動くといった人間が人として得た力を柔軟に成長させていくための手段であるが、もう一方で様々な人の手を借りて子育てしていく人間関係が作れる環境を社会が保証していくために重要な役割を果たしている。あそび、舞台鑑賞活動を通して、その人の内側を知り、人と人はかかわりを持ち合いコミュニティーを作り安心して生きていくことができる。

■事業成果と今後の展望

令和2年度から「あそび」を通して子どもの人権を保障する社会づくり事業を実施し、共感してくれる団体や個人の仲間を増やすことができ、次年度に向けて大人が学んでいくための基盤づくりができてきた。コロナ禍で「子どもとあそび」の有用性について改めて考えていく気運が高まってきており、子どもの健全育成における理解や環境づくりについて子ども支援に関わる多くの団体が基本的な権利と言える「あそび」を保障し、人間としての発達の機会を奪われるコロナ禍今の環境から子どもを守り改善していく必要性を感じ実践し全国でつながりながら多くの動きになってきている。

今後も「子どもの権利」について学びを継続し、子どもの権利条例を作成している市町村の条例を読み解き、その後の動きや変化を学び、当団体の活動に生かしていきたいと考えています。